

たまたか

2001

12

No.424

空と緑`新、呼吸する——**広報TAMAKAWA**

(玉川村ホームページ) <http://www.tamakawa.net6.or.jp>



初冬の風物詩

ある小春日和の日
大根を干す

おばあさん

(写真人物 塩田夕子さん)

晩秋の福島路を一本のタスキが県都へ 第13回 市町村対抗福島県縦断駅伝大会



1区・塩田亜由美選手

今年は、スタートの位置が一番後ろの内側から五番目という位置だったので、どんなふうに出て行けばいいのか分からず緊張していました。スタートした後は、自分のできるだけ力を出して少しでも順位を上げるために頑張りました。結果15分ジャスト自己ベストです。

白河総合運動公園

スタート

塩田 亜由美選手(四辻新田) | 学法五川2年 | 4.0km

サンフレッシュユ白河 | 学法五川3年 | 8.2km

大竹 邦 光選手(若法寺) | 学法五川3年 | 8.2km

泉崎 さつき公園 | 学法五川3年 | 8.2km

草野 直 樹選手(北須釜) | 須釜中学校3年 | 5.9km

矢吹 町 役場 | 須釜中学校3年 | 5.9km

鈴木 悟 選手(電 崎) | 第一工業大学2年 | 7.3km

鳥見山 陸上競技場 | 第一工業大学2年 | 7.3km

斎藤 久 矢選手(中) | 泉中学校2年 | 6.4km

須賀川 市 役所 | 泉中学校2年 | 6.4km

溝井 英 樹選手(南須釜) | 学法五川3年 | 8.1km

日本全業工業前 | 学法五川3年 | 8.1km

湯沢 健 太選手(小 高) | 泉中学校3年 | 5.4km

郡山総合体育館 | 泉中学校3年 | 5.4km

大竹 紘 生選手(若法寺) | 泉中学校3年 | 5.2km

行 健 小 学 校 | 泉中学校3年 | 5.2km

鈴木 香 選手(電 崎) | 泉中学校3年 | 3.8km

大玉村 イイジマ | 泉中学校3年 | 3.8km

関 根 聡 選手(川 辺) | 泉中学校3年 | 7.0km

二本 松 市 役 所 | 泉中学校3年 | 7.0km

岩谷 唯 義選手(中) | 東京精工 | 4.8km

安達 町 役 場 前 | 東京精工 | 4.8km

大槻 亮 平選手(南須釜) | 須釜中学校2年 | 5.6km

松 陵 中 学 校 | 須釜中学校2年 | 5.6km

鈴木 理 佐選手(電 崎) | 泉中学校3年 | 3.4km

福島 大 学 入 口 | 泉中学校3年 | 3.4km

鈴木 光 一選手(電 崎) | アサカ電設 | 8.4km

福島 県 庁 | アサカ電設 | 8.4km

最低限の走りができました。来年に向けてまた頑張ってください。



16区・鈴木 光一選手



2区・大竹 邦光選手

練習不足で結果は良くありませんでしたが精一杯走れたので良かったです。

第十三回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会は、十一月十八日午前八時に雲一つ無い秋晴れの白河市総合運動公園陸上競技場を八十五市町村が一斉にスタートしました。

市町村の代表選手が福島県庁前までの十六区間95・4kmをタスキで繋いでゴールを目指す感動のドラマが繰り広げられました。

大会当日は、絶好のマラソン日和となり、本村の選手も力強い走りを見せてくれました。

総合53位、村の部10位

本村チームは、白河市から泉崎村を駆け抜け、一路福島県庁のゴールを目指して行きました。本村チームは前半の健闘虚しく、郡山市全業工業前にて、約一秒の差で無念の繰り上げスタートとなりました。

しかし、選手の皆さんは常に冷静な走り続け、通算記録五時間四十四分三十三秒で県庁前のゴールテープを切りました。総合順位は、五十三位(昨年五十七位)、村の部は十位(昨年十一位)で、村の部で過去最高の本村が出した記録に並びました。



15区・鈴木 理佐選手

大会に出て走るの、はじめてだったけれど、自分なりに一生懸命走れてよかったです。



3区・草野 直樹選手

最初飛ばしすぎて後半5・3km位で少しはてしてしまったけれど、いい走りのできたのでよかったです。



4区・鈴木 悟選手

七年間走れたこと嬉しく思います。来年は走れるか分からないけれど、走れるように努力していきたいと思えます。



13区・岩谷 唯義選手

去年と同じコースで、前回以上の走りのでき練習の成果が出せたと思えます。村の部としては、過去タイ記録の十位で選手全員が心一つにして、タスキをつないだ結果が出せたと思えます。



14区・大槻亮平選手

今日は、体調が完璧でなかったけれど、全力で走ることができました。今年足が故障してしまいましたが、十四区に選ばれずごく嬉しかったです。来年もまた福島駅伝に参加したいと思います。



6区・溝井 英樹選手

今回は、高校三年間のすべてを出して走ることが目標に頑張りましたが、タスキを繋ぐことが出来なく残念でしたが最高の走りが出来嬉しく思います。



5区・斎藤 久矢選手

初めての大会で緊張したけれど、自己ベストを出すことができたのでよかったです。



12区・関根 聡選手

初めてのふくしま駅伝大会で、最初は緊張したけれど、最後まで全力で走りきれたのでよかったです。



11区・鈴木 香選手

まず、一言「疲れた」。抜かし、抜かれて、土ゼロ。悔しかったけれど、中学校三年間の中で、一番満足のかない走りでした。でも、沿道の人たちの応援があり、とても励みになりました。どうもありがとうございました。



7区・湯沢 健太選手

今年は、二度目の出場なので、あまり緊張はしませんでした。白タスキをかけるか、かけないか、ギリギリまで迷いました。タイムは、目標タイムより遅かったと思います。中学生生活最後の思い出に、この福島駅伝に出場できて、本当にうれしかったです。



8区・大竹 紘生選手

今年は、初めて走ったけれどもみんなの応援があったからちゃんと最後まで頑張れました。今まで、練習はきつかったけれど楽しかったです。



9区・須釜 佳織選手

今回はじめて玉川村選手団に参加し、選手として出させてもらい、とても緊張したけれど、周りの人たちの声援を受け無事完走できてよかったです。応援してくださった地域のみなさんありがとうございます。



10区・深谷 亮選手

攻めの走りが出来なかったが、少しは順位も上がったので、役目は果たしたと思えます。

玉川ライオンズクラブ 結成10周年を祝う



ライオンズクラブ国際協会332-D地区5R1Z
玉川ライオンズクラブ10周年記念式典



開会の宣言をする添田会長

玉川ライオンズクラブ(会員二十六名)では、十一月十一日(日)午後二時から、マーズエラス末広において、結成十周年を記念した式典が開催されました。

式典には、会員のほか、車田村長や地区ガバナー熊坂英二、ライオン、キャビネット地区役員、ブラザーズクラブ関係者などが来賓として、二二〇名が出席し十周年を祝いました。

玉川ライオンズクラブは、平成四年に、郡山東ライオンズクラブのスポンサーにより

結成され、平成八年十一月十七日に、結成五周年の式典が行われ今日に至っています。

この間ライオンズクラブでは、泉郷駅などの公共施設の清掃活動や美化運動、空港周辺の空き缶拾いや清掃、スポーツ少年団の育成(ソフト・ミニバスケット・サッカー・剣道など)や大会の開催など、福祉では村社会福祉協議会へ機能回復歩行訓練器などが贈られ、また教育活動などへのボランティア活動を展開しています。



村民のみなさん、 温かいご声援ありがとうございました



特別表彰の大竹邦光選手

第十三回ふくしま駅伝大会の本村選手団の解団式は、十一月十八日(日)午後五時三十分から村体育館で行われました。

式は、選手、役員、保護者などの関係者が集まり行われ、溝井賢一郎監督から車田本部長(村長)に団旗が返還されたあと、選手ひとり一人に車田本部長から出場記念メダルが首に掛けられました。

その後、車田本部長から「玉川村の代表として一本のタスキを繋いだこと。その感動をありがとう。この貴重な体験

を今後の人生の中で生かしていつてほしいと思います。実行委員会、家族の皆さん本当にご苦労さまでした」と選手、サポーターに労いのことばを述べられました。

また、渡辺助次郎実行委員長、西川良英村議会議長、矢吹貞幸村教育委員長職務代理者からそれぞれあいさつがありました。

溝井監督の謝辞は、「目標は村の部入賞でしたが果たせませんでした。しかし、昨年より順位を上げ嬉しく思っています。明日から十四回目のふくしま駅伝のはじまりとなり、選手に声をかけ、関係各位の協力を得て頑張っていました。最後に皆様方には、長い間ご支援、ご協力を頂きありがとうございました」とお礼のことばを述べられました。

式の中で五年間連続出場の大竹邦光選手に特別表彰があり、車田村長から賞状と楯が贈られました。



お疲れ様でした

選手団解団式終了後に村就業改善センターの日本間において、選手を囲んでの会食懇談会が行われました。

会食の準備は、村食生活改善推進員よつばの会(双里不二枝会長)がボランティアで豚汁やオードブルなどを振る舞いました。

選手や関係者は、大会を振り返っての懇談に花を咲かせ、楽しい時間を過ごしました。

また、大会に先立って十一月十一日に泉・須釜婦人会の役員の方々が、激励を兼ね村選手団に美味しいご馳走を振舞いました。



添田会長に感謝状を贈る車田村長



贈呈された軽自動車と車田村長、添田会長や役員のみなさん

十周年記念事業

玉川ライオンズクラブ

今回の十周年記念式典の中において、次の記念事業が発表され各団体の代表者に贈呈されました。

一、玉川村社会福祉協議会へ軽自動車一台贈呈

- 一、玉川村ソフトボールスポーツ少年団へ助成金贈呈
- 一、玉川村ミニバスケットスポーツ少年団へ助成金贈呈
- 一、玉川村サッカースポーツ少年団へ助成金贈呈
- 一、玉川村剣道大会へ助成金贈呈
- 一、J R 泉郷駅構内の花壇改修工事、チューリップ球根植付
- 一、県重要無形文化財 南須釜念仏踊りへ助成金贈呈

二〇〇一年文化講演会

泣いて笑ってがんばって

海老名香葉子さん来村

村や村教育委員会など主催の文化講演会は、十一月七日(水) マーヴェラス末広にて、故林家三平師匠夫人の海老名香葉子さんを招き行われました。

海老名香葉子さんは、昭和八年十月東京に生まれ、昭和二十七年に林家三平師匠と結

婚し、昭和五十五年林家三平師匠の死後弟子の林家こん平さんをはじめ、三十名の弟子を支えテレビ出演やヒット曲の作詞などをし、幅広く活躍しています。

その海老名香葉子さんの講演は、自身の半生を語り、苦しかったことや三平師匠との



講演をする海老名香葉子さん

馴初めなどを楽しく語りました。会場に詰め掛けた村民約四〇〇名の皆さんは耳を傾けていました。

矢部和子さん(川辺)が 全民児連会長表彰及び 社会保険事務局長表彰

矢部和子さんは、さる十月十八日の国民民生委員児童委員大会において、平成十三年度全民児連会長表彰(永年勤続民生委員児童委員)の伝達を受けました。

また、矢部さんは「国民年金制度推進月間」の事業の一環として、国民年金事業の推進に積極的に協力し、多大な功績のあった国民年金事業民間協力者に選ばれ、十一月十四日に県文化センターで行われた、第三十七回福島県社会保険大会で表彰されました。



表彰状を持つ矢部和子さん

平成十三年度福島県青少年健全育成推進大会 題「大家族」で

月田君が最優秀賞

青少年が社会における自らの役割と責任を自覚し、広い視野と豊かな情操を培い、非行に陥ることなく、心身共に健やかに成長するために、家庭、学校、地域社会が一体となった県民運動を通して、県民の青少年健全育成に対する理解を深め、その積極的な参加を促すことにより、青少年育成県民運動の一層の充実と定着化を図ることを趣旨に平成十三年度県青少年健全育成推進大会が十一月二十一日に県文化センターで行われ、その大会の中で、各種の表彰が行われ、「家庭の日」作文、絵画、ポスター作品最優秀者県知事表彰の作文作品の部で、月田友哉君(玉川一小六年)が表彰されました。

作品の募集は、県内の各小中学校から作文が一五七〇点、絵画が一六九〇点、ポスターが九三点応募され審査が行われたものです。

また、村内から月田君のほか「家庭の日」作品(作文の部)入賞者は、優秀賞に石森真由さん(須釜小一年)、西牧佑加さん(泉中二年)、優良賞に江尻愛由美さん(玉川一小一年)、宗形 美奈さん(須釜小一年)、宇南山 健君(玉川一小二年)、西島 紗奈さん(玉川一小二年)、酒井穂衣さん(川辺小二年)、矢吹 裕菜さん(玉川一小三年)、大木由希子さん(須釜小三年)、草野加緒里さん(須釜小六年)、関根幸さん(須釜小六年)、塩沢美帆さん(須釜中三年)の十三名の方々が入賞しました。



最優秀賞になった月田友哉君

健康ふくしま二十一をめざして

第五回県中地方公衆衛生大会

十一月十五日(木)に、公衆衛生大会は、社会構造の著しい変化により、総合的な保健対策の必要にせまられています。このような現状から、地域住民の保健確保に最も関係の深い機関及び団体が有機的連携のもとに相互協力して、住民の健康生活をより高めるために、船引町で第五回県中地方公衆衛生大会が開かれ、次の六項目の大会決議案が承認されました。

- 一、心身ともに健康でうるおいのある生活の実現
- 二、生活習慣病(成人病)、寝たきり予防のための各種保健事業の推進強化
- 三、質の高い保健医療サービスの提供体制の整備促進
- 四、健やかに産み育てるための母子保健サービスの充実強化
- 五、献血をひろめ、健康な血液の確保
- 六、健康と環境に配慮した分煙対策の推進

また、大会の中で各種表彰があり、献血の功労者として県赤十字血液センター所長感謝状が小針善栄さん(川辺)に贈られました。

- 一、心身ともに健康でうるおいのある生活の実現
- 二、生活習慣病(成人病)、寝たきり予防のための各種保健事業の推進強化
- 三、質の高い保健医療サービスの提供体制の整備促進



大会に参加したみなさん

第3回 よい歯のコンクール表彰

平成13年度第3回よい歯のコンクールは10月26日(金)に村保健センターで行われ、渡辺実可子ちゃん他9名が表彰されました。

岡部 美優ちゃん(竜崎) 保護者・勇	渡辺実可子ちゃん(岩法寺) 保護者・三喜男
矢部 達樹くん(岩法寺) 保護者・宗	小林 哲也くん(竜崎) 保護者・正一
篠沢 海人くん(竜崎) 保護者・知枝美	沖田奈々香ちゃん(小高) 保護者・伸夫
鈴木羽蘭ちゃん(吉) 保護者・洋一	上野 哲平くん(竜崎) 保護者・一徳
佐藤 翔悟くん(岩法寺) 保護者・義史	車田 成永ちゃん(藤生) 保護者・雅一

年末年始の交通事故防止

県民総ぐるみ運動

新世紀 無事故でつなぐ うつくしま

運動期間

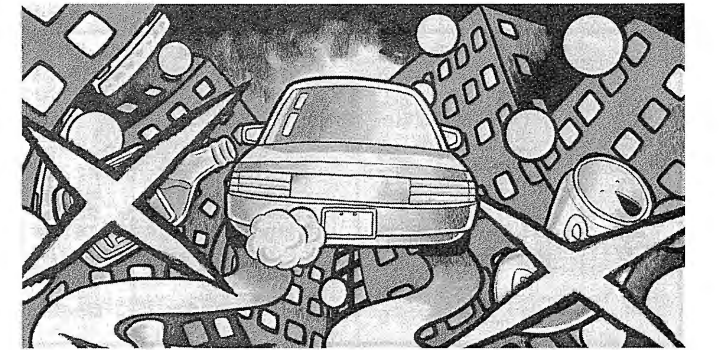
平成13年12月10日(月)～

平成14年1月7日(月)まで

運動の重点

- 1 飲酒運転の追放
- 2 夜間の交通事故防止
- 3 シートベルトとチャイルドシートの着用徹底

年末年始は、交通量が増加するほか、忘・新年会等で飲酒の機会が多くなることなどから、交通事故が多発します。そこで、ひとり一人に交通安全知識を普及し、交通マナーを習慣づけることにより、交通事故防止を図ることを目的として、この運動が行われます。



飲酒運転(し)ない運動

- 1 運転するなら飲まない
- 2 飲んだら運転しない
- 3 飲んだ人には運転させない
- 4 運転する人には勧めない

安全運転実践行動

「3つの10」

- 1 10分早めの出発
- 2 10パーセント減速
- 3 十分な車間距離

未来の玉川村駅伝選手

平成13年度第2回玉川一小校内マラソン大会

第二回玉川一小校内マラソン大会は、全児童が親しみ、マラソンを通して体力の増進を図るために秋晴れの中、役場駐車場をスタート・ゴールとし、二年生が1km、三・四年生が1.5km、五・六年生が2kmの三コースを設定し熱戦が繰りひろげられました。

なお、学年ごとの上位入賞者は次のとおりです。(敬称略)

- 一年生
 - 男子 一位 小林英紀 二位 小針 駿弥 三位 飯村達哉
 - 女子 一位 宗形寿美鈴 二位 小針 葵 三位 上野絵海
- 二年生
 - 男子 一位 車田清喜 二位 曲山 拓也 三位 木須洸志
 - 女子 一位 米原実生 二位 我妻 千重紀 三位 遠藤ちづる
- 三年生
 - 男子 一位 小針勇人 二位 矢吹 信仁 三位 車田寿和
 - 女子 一位 吉田めぐみ 二位 小針 静 三位 秋保沙也佳
- 四年生
 - 男子 一位 車田圭爵 二位 岡部 貴紀 三位 曲山一也
 - 女子 一位 三輪葉月 二位 湯澤 麻衣 三位 江尻 楓
- 五年生
 - 男子 一位 湯澤圭介 二位 佐藤 裕也 三位 小針真人
 - 女子 一位 國井裕樹 二位 車田 みずほ 三位 曾根原 舞
- 六年生
 - 男子 一位 伊東 力 二位 鈴木 将友 三位 曲山裕太
 - 女子 一位 塩澤千穂 二位 広瀬 綾香 三位 小針春香



愛の献血 ありがとう

十月二十六日の献血者は、次の六十四名でした。あなたの愛に感謝します。(敬称略)

- 片山ゴム(株)
 - 荒牧 勇二・大野 武彦・近内 源吉・塩沢 善勝・鈴木 繁一・関根 幸一・古橋 順一・吉村 栄・藁萱 秀和
- ユキザワ(株)
 - 阿部金四郎・石森 三男・石森代志子・鏡 公一・佐久間 昇・首藤 両輔・須田 正行・宗形 菊男・本野 憲一
- 福島空港ビル
 - 会田 光善・浅井砂緒里・飯島 邦明・太田 耕二

- 玉川村役場
 - 角田久美子・小針 絹代・斉藤由美子・佐藤 利加・塩田 晃・梶原 潤・鈴木 紀子・橋本久美子・鈴木真理子・関根八千代・高木 育夫・西野 宏明・橋本 美幸・穂積 純子・本田 政昭・室岡 孝子・箭内 聡・八幡 文郎・矢部 博美・山口 哲也・渡辺ユイ子

- 村消防団員の献血協力者
 - 荒木 明・上野 竜弥・草野 正博・小原 幸春・小針 武彦・小針 達夫・郷 彰二・酒井 理江・塩澤 理博・塩澤美代子・鈴木 輝美・高林 重和・廣瀬亜紀子・曲山 博貴・増子 広行・溝井 康夫・谷地 幸子

十二月二日における玉川村消防団員の献血協力者

村民(ブランド) (敬称略)

- 本団
 - 我妻 徳雄・円谷 久
- 川辺分団
 - 矢部 一之・大竹 賢一・磯目 勝寿・岩谷 優規

- 塩田 敬・鈴木 厚志・三瓶 信之・三瓶 利雄・白旗 功・鈴木 信幸・須藤 竹利
- 蒜生分団
 - 曲山 久之・真弓 勝昭・佐藤 正男・佐藤 匡成
- 小高分団
 - 溝井 強・沖田 伸夫・荻田 宏・鈴木 裕一・佐藤 弘明・矢吹 耕治
- 中分団
 - 鈴木 正勅・小針 博・首藤 芳春・永林 吉紀・鈴木 正幸
- 岩法寺分団
 - 佐久間 豊・石森 栄・倉鎌 秀志・小林 和良・草野 浩志
- 竜崎分団
 - 小林 正喜・鈴木 武司・小林 久晃・小林 正和・小林 等・湯沢 健・小林 裕也・佐藤 明
- 南須釜分団
 - 大野 政幸・大野 福浩・円谷 克也・大越 和彦・大越 健一・吉村 博・飯島 常巳・斑目 宏・大木 政明
- 北須釜分団
 - 草野 直幸・草野 貞道



献血の受付をする団員のみなさん

再就職を希望する方へ

「育児や介護から手が離れたら、もう一度働きたい」(財)21世紀職業財団は、そんなあなたの再就職準備を、長期的にバックアップしていきます。

- 対象者
 - 妊娠、出産、育児または介護を理由として退職し、将来、働けるようになったときに、再就職を希望する方
- 登録の申し込み
 - 福島事務所に「再就職希望登録者支援事業登録票」と証明写真を提出してください。
- 登録票の請求等
 - 登録票は事務所に備えつけてありますが、電話で請求し、郵送により申し込むこともできます。
- 有効期間
 - 登録の有効期間(登録期間)は、四年間です。引き続き登録を希望する場合は、一回に限り更新することができます。
- 問い合わせ先
 - (財)21世紀職業財団福島事務所

024-522-3030



小針実行委員長から車田村長に手渡された寄付金

村社協に寄付

村長杯ゴルフチャリティー収益金

11/8

村長杯ゴルフコンペは、秋晴れの中、約一三〇名が参加し、福島石川コントリビュータークラブで催されました。参加した方々は、日ごろの練習の成果を発揮し、また今回は、東京玉川会から二名の方も参加し、参加者はコースで好プレーや珍プレーを披露していました。

プレー終了後マウエラス末広にて、表彰式が行われ、成績発表やチャリティー募金、オークションなどが行われ収益金八一、四二二円は、実行委員長の小針常美さんから社会福祉協議会へと、車田社会福祉協議会長(村長)に手渡されました。

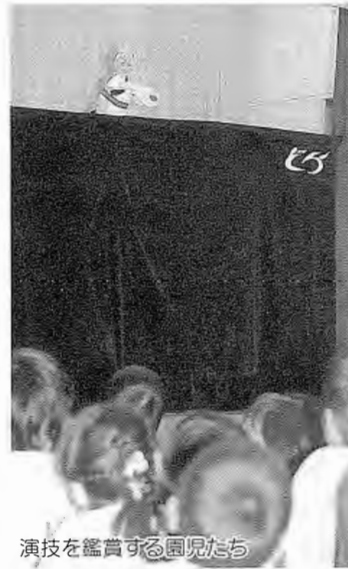
すがま幼稚園で人形劇

11/21

「劇団どら」(代表 宮原大刀夫さん)を主宰し、日本全国で公演を続けている宮原さんは、1980年から欠かさず、中国各地で人形劇の無料公演を続けています。わずかな舞台道具と身の回りの荷物を携えて、妻の静枝さんと二人で行っています。

そんな「劇団どら」が今回すがま幼稚園を訪れ、「はちさんをおこらせた」と「金のおの銀のおの」の2作品を演じました。

鑑賞した須釜小の1年生やすがま幼稚園・児童館の子どもたちは楽しいひと時を過ごしました。



演技を鑑賞する園児たち

唄や踊りで賑わう

第二十六回 芸能発表会

11/11

平成十三年度玉川村文化祭最後を締めくくる第二十六回玉川村芸能発表会が村体育館で行われました。発表会は、午前十時に開演となり、多くの民謡ファンが訪れ、実行委員長の佐藤ハルイさんがあいさつしたあと、来賓祝辞があり発表に入りました。

発表は、玉川こぶし会・琴翔会の皆さんによる大正琴で、「人生劇場」の曲から始まり、唄や踊り、詩吟、大正琴などが披露されました。出演者は、村内外の団体が参加して、五十七の唄や踊りなどが披露されました。



演技を披露するみなさん

各小学校で 学習発表会

学習発表会は、須釜小学校四辻分校を皮切りに、十月十三日に行われ、須釜小学校が十月二十三日、川辺小学校

の「川辺っ子祭り」が十一月十日、玉川第一小学校の「玉川フェステバル」が十一月十八日に開かれました。発表は、各学年がテーマを持ち、日ごろ学習で体験した発表や演技の練習した成果などを訪れた人達に披露していました。川辺小学校では、午後から川辺っ子祭りの締めくくりとして体育館で、おじいちゃんやおばあちゃん、お父さんやお母さんなどみんな一緒に、盆踊りを行い、おじいちゃんやおばあちゃん、昔馴染りした太鼓や笛を鳴らして盛会のうちに終わりました。



川辺小学校の盆踊り



須釜小学校の演劇



須釜小四辻分校の清流太鼓

トピックス IN たまかわ

みなさんからの話題をおまちしています 役場総務課広報広聴係まで



玉川第一小学校の新人物伝コーナーで白米に文字を書く溝井さん

空港ビルは、一足早いクリスマス!

11/23

11月23日から、空港のビル前の植え込みに、電球を飾り、ビル内の2階などにはクリスマスツリーや装飾などがなされ搭乗客の目を楽しませています。

また、12月の日曜日、3週に渡ってクリスマスコンサートを開催しています。



空港ビル前のイルミネーション

両中学校に 下敷を配布

11/5

(社)須賀川法人会(安田好一会長)では、「税を知る週間」の行事の一環として、須賀川税務署管内の公立中学校全生徒に対し、租税教育用下敷を制作し無償配布をするため、村教育委員会を訪れ両中学校生徒全員の二九九名分が車田教育長に手渡されました。



車田教育長に下敷を手渡す安田会長

第4回 JAあぶくま石川カップ ミニバスケットボール大会 玉川ミニバス3位

10/13-14

JAあぶくま石川主催の大会は、石川管内のミニバスケットボールスポーツ少年団など13チームが参加し、クリスタル石川総合体育館で、2日間にわたり熱戦が繰りひろげられ、玉川ミニバスケットボールチームが3位に入賞いたしました。



3位に入った玉川ミニバスケットボールチーム



～ ぶくしま駅伝大会にて ～

税務署からのお知らせ 所得税の確定申告書が新しくなります

平成14年1月(平成13年分の確定申告)から使用する、所得税の確定申告書が改定されました。新しい申告書は、A4版2枚で「申告書A」と「申告書B」の2種類に統合され、文字も大きく見やすいものとなりました。それに伴い税務署では、業種ごと、市町村ごとなどの各種説明会を12月から1月末にかけて計画しますので該当する方はご利用ください。

なお、詳しい開催日時等については、はがき・チラシ・広報誌等でお知らせします。

◆須賀川税務署の申告会場
須賀川税務署の平成13年分の確定申告会場は、平成14年1月28日(月)から3月15日(金)までは、昨年同様須賀川産業会館になります。

今から準備をされて、広い会場で早めに申告するようお願いいたします。

特別永住者として永住している方などで元軍人軍属等の皆さまへ 弔慰金・見舞金が支給されます

対象者 昭和12年7月7日以後の公務傷病により
①昭和16年12月8日以降死亡された方の遺族
②重度の障害の状態にある方
③重度の障害の状態にあった方の遺族

支給内容 上記の①又は③に該当する方は弔慰金260万円
上記の②に該当する方は見舞金等400万円

請求期間 平成13年4月1日～平成16年3月31日

請求窓口 村役場の援護担当課

お問合せ先 請求窓口又は都道府県の援護担当課
総務省大臣官房管理室弔慰金等支給業務室
〒105-0005 東京都港区虎ノ門1-18-1
虎ノ門第10森ビル ☎03-3539-7830・7831

預金の保護の範囲が変わります

万一金融機関が破たんした場合でも、預金者1人当たり、定期預金等の元本1,000万円までとその利息は、来年4月以降も保護されます。

合算して元本1,000万円までとその利息は、あくまで最低保障ですので、受け取るのは1,000万円だけではありません。

また、当座預金・普通預金等は、平成15年3月まで全額保護されています。

詳細は、金融機関の窓口等にお問合わせください。

第15回全国健康福祉祭ぶくしま大会 うつくしまねりんピック2002 メダルデザイン募集

●募集内容 大会に参加する選手等に授与するメダル(表面)のデザインを募集します。

●応募方法 どなたでも応募できます。

募集要項に基づき、応募はがき又は官製はがきにより応募してください。(詳しくは、下記にお問合わせください)

●応募締切り 12月28日(金) 当日消印有効

●応募先・お問合わせ先 大会実行委員会事務局(県庁ねりんピック推進室内) ☎024-521-7304

●募集要項(応募はがき) 村役場健康福祉課窓口にて配布しています。

年末年始の ゴミ等の収集日のお知らせ

●燃えるゴミ 収集並びに一般搬送
年末は12月28日(金)まで(一般搬入は、12月28日まで平常とおり受付)。年始は1月4日(金)から収集及び一般搬入の受付をいたします。

※12月29日から1月3日までは、ゴミの収集は行いませんので、ゴミステーションに出さずに家庭で保管してください。

●危険物収集日
12月24日(月) 西部地区(川辺・蒜生・小高・中・岩法寺・竜崎)
12月25日(火) 東部地区(南須釜・北須釜・吉・山小屋・四辻新田)

伝言板

新年のごあいさつ新春互礼会のご案内

玉川村の平成14年新春互礼会は、次の日程により開催します。

参加を希望される方は、事前に参加申し込みをお願いします。

- 日時 平成14年1月4日(金) 午後2時～
- 場所 マーヴェラス末広
- 会費 2,000円(当日徴収)
- 申込方法 村総務課(☎57-4621)まで申し込みください。
- 申込期日 平成13年12月25日(火)まで

寄付ありがとうございます

下記の方々から社会福祉活動資金として寄付をいただきました。(村社会福祉協議会)

記

- 川 辺の熊田富一さんから
- 〃 の矢部常一さんから
- 小 高の溝井正一郎さんから
- 〃 の溝井貞光さんから
- 中 の鈴木孝一さんから
- 竜 崎の上野寛一さんから
- 吉 の有賀貞亥さんから
- 第15回玉川村長杯ゴルフコンペ実行委員会から 81,422円

村のようす

(13年12月1日現在)

🏠 1,816戸(±0)

👤 7,642人(-16)

👦 3,780人(-8)

👧 3,862人(-8)

お誕生おめでとうございます

(11月届出分)

地区名	出生児氏名	保護者名
川 辺	山崎美空	良浩
竜 崎	小針奏	誠
〃	添田元氣	誠

おくやみ申し上げます

(11月届出分)

地区名	死亡者氏名	世帯主名
川 辺	熊田富雄	富一
〃	矢部キクノ	常一
小 高	溝井正九郎	正一郎
〃	溝井ハツエ	貞光
中	鈴木孝	孝一
竜 崎	上野リエ	寛一
吉	有賀藤一	貞亥

広報への掲載を希望されない場合は、窓口への届け出の際にお申し出ください。

今月の納税

【納期限は12月25日(火)です。忘れずに納めましょう!】

固定資産税	第3期
国民健康保険税	第6期
国民年金保険料	12月保険料

12月1月の健康ごよみ

- 12月
- 18日(火) すくすくクラブ.....保 午前10時00分～
- 19日(水) たまかわ健康クラブ.....保 午前9時30分～
- 3～4カ月児健診.....公 午後1時30分～
- 21日(金) 山鳩会.....保 午前10時00分～
- 1月
- 9日(水) 三種混合予防接種.....須 午後12時45分～
- 11日(金) 1才児お誕生相談会.....保 午後1時30分～

保:保健センター 須:須釜公民館 公:公立岩瀬病院

※子宮がん施設検診(1/11～1/31)
※12月から、保健センターでの集団予防接種の担当医が、厚海 徹先生に変わります。よろしくお願ひします。

花愁短歌会玉川支部詠草集

村公民館

通勤の朝の心を和ませて色冴えており花壇の花は
み仏のころを休すうら盆の夕べ鳴り来る梵鐘の音
月に一度の歌会なれど難聴のため出席は適わぬものに小針 守次
より学びより動きつつ熟年の今日を悔いなく生きよと思ふ

首筋に滴り落ちる木々の露すがしみながら山道登る
祈禱師が「あなたの後に守護霊が」振り向けば鏡わが顔のあり

朝起きに祈る神柳家族らの無事を祈るがわが日課なり

腕を振り背を伸ばしつつ心にも脱ぎ捨てんとす過去の鐘は

登那木きみ
川崎 雄子

吉田 ハツ子
吉田 直子
小針 愛子
小針みね子
吉田 直子
守次

吉田 英祐

さるなし俳句会十一月句会詠草

した、かに釘打ら損ね冬に入る
冬早いつしか溶けし喉の鈴
木の葉降る天に木立のあるらしく
虫も猫も浮かれ出でたる小春かな
綿入れや背負う稚児の城となし
物売りの声高らかに冬立てり
積雪のはなし土産に帰国する

仁
由記
真知
華
仁美
美枝
春恵

シリーズ

今日の食卓 ④



「かぜをひきそうかな? と感じたら」

ひき始めのかぜには、十分な栄養と睡眠が一番の薬です。抵抗力や免疫力を高めるたんぱく質、ビタミンC、ビタミンB。かぜのウィルスの侵入口となる鼻腔や気道の粘膜を強くするビタミンAをしっかりとりましょう。

温かく汁気の多いものは、体を温め免疫力をアップさせ、のどの粘膜を潤わせる効果もあります。そくつきたら今月のメニュー「冬野菜のミルクポトフ」をお試し下さい。

『冬野菜のミルクポトフ』

— 材料(4人分) —

- | | | | |
|---------|------|---------|------|
| ●ウィンナー | 4本 | ●塩・こしょう | 適量 |
| ●玉ねぎ | 1個 | ┌コンソメ | 小さじ1 |
| ●人参 | 2/3本 | A●牛乳 | 2カップ |
| ●キャベツ | 200g | L●水 | 2カップ |
| ●ブロッコリー | 200g | | |
| ●かぼちゃ | 200g | | |

— 作り方 —

- (1)ウィンナーは縦半分にし切れ目を入れる。玉ねぎは大きくくし切り。人参は大きく角切り。キャベツは、大きく角切り。かぼちゃは、1口大に切る。ブロッコリーは小房に分けゆでる。
- (2)ブロッコリー以外の材料とAを鍋に入れことごと煮る。塩・コショウで味をととのえ、ブロッコリーを入れて火を止める。

※ 家にある野菜何を入れてもおいしいです。コレステロールや体重の気になる方は、牛乳を水に変え、スキムミルクを加えるとより低カロリーになります。



神奈川県
大和市



私のふるさと

— 神奈川県大和市 —

安田 孝之さん(岩法寺)

私のふるさと大和市は神奈川県の大和市に位置し首都圏近郊という立地から人口二十一人、ベットタウン的都市です。また在日米軍基地厚木飛行場があることでも全国的に知られています。私の育った地区は江戸時代、江戸を起点に、南足柄の矢倉沢、静岡県の三島に至る脇往還として栄えた街道(矢倉沢往還)の宿場、鶴間宿として栄えた歴史があり、趣のある家々が並び畑も比較的たくさん残っていて古い街並を見ることが出来ます。

また、大和市には引地川の水源があり大和より藤沢市海岸の鶴沼に流れています。河口は絶好のサーフスポットでいつも賑わっています。水源は自然公園「泉の森」として整備され、自然観察センターやキャンプ場などがあり、四月にはシバザクラ、六月にはハナショウウブが見ごろとなり、さまざまな野鳥とともに自然を残しています。

また広報たまかわ私のふるさとコーナーに登場していない県外出身者をご存知の方が居りましたら、玉川村総務課まで連絡ください。(☎57-4621)

東京玉川会コーナー



心に残る我がふるさと

『阿武隈川に想いをよせて』

埼玉県川口市

伏田 茂さん

(竜崎出身・伏田 章さんの弟)

年の瀬も迫り皆様も正月の準備、帰郷の用意等で忙しい日々をお過ごしのことと思います。故郷で過ごしたのは、昭和三十年頃までで、思い出されるのは、自然に恵まれた玉川村の山河です。特に阿武隈川は、私の父、四人兄弟にとつて楽しい思い出がたくさんあります。親子揃って釣り好きでした。玉城橋周辺では、山女、ハヤ、かじかなどの川魚はなんでも釣れました。釣った魚は夕食の食卓に弁当のおかずにと母には喜ばれます。

たものです。ほかに友達とは、川で泳いだり、橋から飛び込んだり度胸試しをしたものです。腹がへると桑の実やきゅうりを失敬しておいしかったことを思い出します。物こそなかったけれど自然からの恵みや遊び、贅沢な暮らしになったとも思える。今は、ふるさとの暮らしに憧れます。さて、米国同時テロ、アフガンスタンの空爆等世界の関心が注がれている中暮れようとしています。皆様の健康を祈願し、来年の再会とふるさとの便りを心よりお待ちしております。



大内宿にて、後列右より2人目が私です